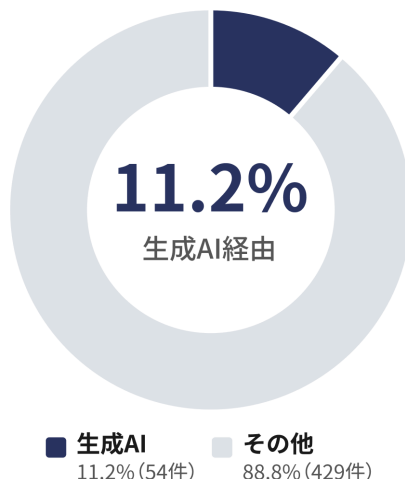


法律事務所を知ったきっかけ、11.2%が「生成AI」

— 問合せ者483人の調査。AI経由層の約7割はポータルサイトの影響を受けていない —

弁護士法人春田法律事務所(全国12拠点、代表:春田 藤麿)は、問合せ後のアンケート(有効回答483件)を分析しました。当事務所を最初に知ったきっかけが「生成AI」だった方は11.2%(54件)で、1割を超えました。さらに、生成AI経由で来られた方のうち約7割(69%)は、ポータルサイト(弁護士の比較・検索サイト)の情報が問合せの決め手に「影響していない」と回答しました。生成AIが比較検討そのものを代行し、ポータルサイトを經由せずに依頼先を決める層が現れていることがうかがえます。

1. 事務所を知ったきっかけ、生成AIが11.2%



出典：弁護士法人春田法律事務所調べ
問合せ完了時アンケート
n=483 (2026年4月3日～9月9日)

春田法律事務所

当事務所を最初に知ったきっかけを尋ねたところ、「生成AI」と回答した方が11.2%(54件)でした。その他の回答は、自社サイト(コラム・解決事例)、検索エンジン、ポータルサイト、紹介・口コミなどでした。

2. 生成AI経由の約7割は、ポータルサイトの影響を受けていない

「ポータルサイトの情報が問合せの決め手にどの程度影響したか」を経路別に集計したところ、「影響していない」と回答した割合は次のとおりでした。

認知経路	「影響していない」	(参考)影響あり
生成AI経由	69%	31%
検索エンジン経由	60%	40%

認知経路	「影響していない」	(参考)影響あり
ポータル経由	10%	90%

従来、多くの方は複数のポータルサイトを見比べて事務所を選んでいました。生成AI経由の層は、その比較をAIに任せているとみられ、ポータルサイトという接点を通らずに相談に至っています。

3. AIは「検索の代わり」ではなく「選定の代行」に使われている

自由記述には、次のような回答がありました(原文ママ・匿名)。

- ・「Claudeに相談したらおすすめされた」
- ・「GEMINI、ChatGPTからの推薦」
- ・「AI(ChatGPTとGeminiに調べさせ、どの法律事務所がいいかを判断しました」
- ・「AI(Gemini)でトレント関係の優秀な弁護士で検索した」

単にキーワード検索の代わりに使っているのではなく、AIに候補を絞らせ「どこに相談すべきか」の判断まで委ねている点が特徴です。複数のAIを使い比べている回答も見られました。

4. 弁護士コメント

「弁護士に相談すべきかどうか分からないまま、一步を踏み出せずにいる方は少なくありません。生成AIはその最初のきっかけになっており、相談の入口が増えたこと自体は前向きに受け止めています。一方で、法律の判断は個別の事情によって結論が変わります。AIが参照する情報が正確であるよう、制度や手続を丁寧に発信していくことが私たちの責任だと考えています。お困りの方が、より身近に弁護士へたどり着ける環境をつくっていききたいと思います。」

(弁護士法人春田法律事務所 代表 春田 藤麿)

5. 調査概要

項目	内容
調査主体	弁護士法人春田法律事務所
調査対象	同所への問い合わせを完了した方
調査期間	2026年4月3日 ～ 2026年9月9日
調査方法	問合せ後のWebアンケート
有効回答数	483件
集計日	2026年9月10日
集計上の注記	認知経路は自由記述を含むため、生成AI関連の表記(ChatGPT/Gemini/Claude/Copilot/生成AI 等)を名寄せして集計

事務所概要・お問い合わせ

名称	弁護士法人春田法律事務所
代表	春田 藤麿
拠点	全国12拠点(2026年9月現在)
主要取扱分野	刑事事件 / 離婚・不倫慰謝料 / ネットトラブル / 婚前契約 / 立退料 / 債務整理 / 相続 / 交通事故 / 労災 / アスベスト被害 / 情報セキュリティ ほか
URL	https://haruta-lo.com/
本件連絡先	担当: マーケティングチーム Email: marketing@haruta-lo.com 代表電話: 03-3528-8696

【社内用】巻末:確認事項・入稿設定

※このページは公開しません。入稿前に削除してください。

確認事項(春田先生)

#	確認内容	状態
1	弁護士コメント(4章)の文面でよいか	未
2	自由記述の引用(3章)を原文ママで掲載してよいか	未
3	配信日と本件連絡先の確定	未
4	経路別の構成比を非公表とする方針の確認	未

表記ルール

- ・「ポータルサイト」で統一(設問文が「ポータルサイト(ベンナビ等)」のため整合を取る)。初出のみ「弁護士の比較・検索サイト」と補足。「比較サイト」は本文で使わない。
- ・「ポータルサイトを見ていない」は使用不可。設問は「決め手にどの程度影響したか」であり閲覧の有無は測っていない。→「影響を受けていない」と表記する。

編集方針(非公表とする情報)

経路別の構成比(自社サイト・ポータル・検索エンジンの割合)は公表しない。自社の集客チャネル依存度が競合・ポータル事業者に伝わり、掲載条件の交渉等で不利になるため。主題は「AI経由の割合」と「AI経由層の行動」であり、構成比がなくても記事は成立する。

取材対応の想定問答

Q「他の経路の内訳(自社サイト・ポータル等の割合)は？」

A「経路別の詳細な構成比は非公表とさせていただきます。今回申し上げられるのは、生成AIと回答した方が11.2%であること、そしてその層の約7割がポータルサイトの影響を受けていないことです。」
→ 粗い粒度でも答えない。一度出すと他媒体にも展開されるため方針を統一する。

Q「AI経由の人はポータルサイトを見ていないのか？」

A「閲覧の有無は調査していません。あくまで『決め手に影響したか』を尋ねた結果です。」→ 断定しない。記者が「見ていない」と書きたがるため、こちらから言わない。

Q「AI対策として何をしているか？」

A 制度・データを正確に記載する、根拠と出典を明示するといった一般的な情報整備の範囲で回答。具体的な施策は開示しない。

@Press 入稿設定(転載先を最大化する)

カテゴリ・タグは該当するものを最大限広く設定する(=転載先メディア数が増えるため)。

項目	設定
カテゴリ	IT・インターネット / ビジネス / ライフスタイル
タグ	AI・人工知能 / インターネットサービス / 調査・ランキング / 法律(国内) / ビジネス全般
狙う枠	IT枠5媒体(CNET Japan/ZDNET Japan/PC Watch/RBB TODAY/インターネットコム) + 全ジャンル掲載15媒体
配信日時	火・水・木の午前10時(大型連休・年末年始は回避)

リンク先設計(被リンクの受け皿)

前回の実測で「リリースの被リンクは、リリース内でリンクした着地ページに集まる」ことが判明済み(不貞相手と出会う場所ページ=16サイト、多重債務ページ=13サイト)。採用ページに25サイト分が流れた失敗を繰り返さない。

1. 主リンク=自社サイトに調査記事を新規作成しそこへ(例:/column/chosa-ai-bengoshi-sagashi/)。この記事自体が被リンク資産になる。
2. その調査記事から、受任価値の高い分野ピラーへ内部リンクを張る(ネットトラブル/トレント、開示請求(受け側))。獲得した被リンクの評価を分野ページに流す。
3. 補助リンク:トップページ。※採用ページには絶対にリンクしない。

集計の再現条件

- ・元データ: 認知経路アンケート(回答) (4).xlsx (Googleフォーム出力)
- ・除外7件=テスト送信2/求人・転職応募2/営業目的3(分野が「先着5社限定...」「貴社のIT人材調達のご支援」「Web運営に関するインタビューと情報提供」)
- ・生成AI判定: chatgpt | chat-gpt | チャットgpt | gpt | gemini | claude | copilot | 生成ai | 単独のAI(語境界) | AIを大文字小文字問わず照合。「AIからの検索」等はAIを優先(AIが起点のため)
- ・経路別「影響していない」: 生成AI 37/54=69%/検索エンジン 50/83=60%/ポータル 12/117=10%
- ・月次内訳: 4月11.4%/5月15.0%/6月10.6%/7月6.9%/8月13.3%/9月8.3%(9日まで)